

データ利用、研究テーマ募集、および Authorship について

済生会宇都宮病院 救急・集中治療科
栃木県救命救急センター
小倉 崇以

【データ利用】

収集した全ての匿名化&クリアランス後のデータを研究協力施設に対して公開します。(データ利用希望者は、本委員会へ研究テーマを記載し、委員会承認を得る必要があります。)

【テーマ募集】

複数回に分けて、提出症例 50 例以上の協力施設における本研究責任者全員に対し、解析テーマの募集を行います。テーマが重複した場合は、提出症例数に基づき優先権を付与します。また、テーマが同一ではなくとも類似する場合には、調整をさせていただくこともあります。なお、申請された研究テーマが、委員会承認後 1 年が経過しても雑誌への投稿（採択は関係なし）に至らない場合は、そのテーマに関して解析/執筆する権利は消失するものとします。

ただし、下記のテーマに関しては、コアメンバーで解析を行いますので、承諾いただきますようお願い申し上げます。

- TBSS の外部検証
頭部単独外傷を除いた ISS16 点以上の重症外傷患者を対象に、TBSS による大量輸血療法の予測精度に関する外部検証を行います。
- 外傷死の三徴の外部検証
「新規外傷死の三徴」の院内死亡予測精度につきまして外部検証を行います。
- トラネキサム酸奏功特性の検出
トラネキサム酸の投与が入院中死亡と輸血量を減少させ、特に頭部外傷による死亡を減少させると仮説し、トラネキサム酸非投与群と比

較することでその仮説を検証します。また、トラネキサム酸が有効な外傷患者のサブグループも探索します。

研究テーマ申請を希望する方は、テーマ募集期間中に別紙申請書に御記入いただき、学会事務局まで提出をお願いします。

【Authorship に関して】

<本解析>

事前設定したテーマに関しては、JAST-CTG 委員会コアメンバーであります小倉（済生会宇都宮病院）、白石（亀田総合病院）、遠藤（東京医科歯科大学）で解析/論文作成を行います。その際、協力施設の代表者は、共著者となることができます。人数制限等の Author に制約が発生する場合、その際の記載順および人選は、下記を原則とします。

- ① 1st author（各主要研究の代表者または責任者）
- ② 共著者の選出は責任著者に一任されるが、原則、ICMJE に準拠する形で JAST-CTG 委員会コアメンバーの中から順次選出
- ③ 統計担当者
- ④ 参加施設の代表者：提出症例数順

共著者の該当基準としては、以下の ICMJE の推奨を採用します。

- ・本研究及び論文執筆に直接加わっていないメンバーは共著者には加えない
- ・研究の着想、デザインまたはデータの取得・解析・解釈に本質的に貢献する
- ・原稿を執筆または、重要な内容について批判的に修正している
- ・最終原稿を承諾している
- ・研究のあらゆる部分に関して、正確性や整合性に関する問題が適切に実施解決されていることを保証し説明責任を追う

その他、著者の末尾には、on behalf of the Japanese Observational study for Coagulation and Thrombolysis in Early Trauma (J-OCTET 2) study group と追記するものとします。なお、学会発表に関しては、演者の他は Japanese Observational study for Coagulation and Thrombolysis in Early

Trauma (J-OCTET 2) study group の名前のみでも可とします。

<サブ解析>

協力者が作成したサブ解析論文の Authorship は、下記を原則とします

- ① 1st author=本研究への参加者
- ② 以降は 1st author の判断で自由に設定
- ③ 各研究において共著者に該当しないコアメンバーとその他の一般参加施設の代表者は、Collaborator として acknowledgement に記載する。